

授業科目名 <英訳>	中毒学入門 Introduction to Toxicology				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 小泉 昭夫					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

I. コースの概要

化学物質の健康影響を考えると、「正」の面である薬と「負」の面である毒がある。本コースでは、環境汚染物質や身近にある金属、有機物質の毒性を有名な事件や古典を題材として考察し、初級中毒学を学ぶ。予習の必要はありませんが、高校化学の知識は必要です。題材から事件を推理するのではなく、現代化学文明の獲得した利便性の、ヒト健康に及ぼす負の作用を考えます。ケーススタディをもとに、薬物、毒物の影響を教授しますが、自らも考え、積極的に意見発表を行ってください。

[到達目標]

II. 学習到達目標（このコース終了時までに習得が期待できること）

- ・化学物質の毒性を知ることができる
- ・毒物に関して、症状から文献検索ができる。
- ・症状と経過から毒物を予想できる。中毒学の基礎を知ることができる

[授業計画と内容]

コース予定・内容

第1回 4月12日オリエンテーション Orientation

第2回 4月19日アルコールの毒性と遺伝 Alcohol

第3回 4月26日インスリン殺人事件 Insulin

第4回 5月10日ハチが消えた。ネオニコチノイド農薬 Neonicotinoid pesticide

第5回 5月17日 Maximum Life span

第6回 5月24日過労死 Karoushi

第7回 5月31日伝統医学と現代医療、治療薬としての砒素：Arsenic

第8回 6月7日寒冷と痛み そのメカニズム：Pain

第9回 6月14日麻薬の毒性、大麻と肥満 Opioid and cannabinoid

第10回 6月21日インドの小児の夏の死亡の原因を推理する Cause of Children's Death in India during summer

第11回 6月28日トリカブト殺人事件 Aconitine 「Long working hours in occupational settings」のレポート提出

第12回 7月5日生薬から生まれた現代医薬 Medicines from natural products

第13回 7月12日過労死予防への提言 Group work

第14回 7月19日過労死予防への提言 講評 Group work

第15回 7月26日レポート講評

中毒学入門(2)

[履修要件]

MPH選択、環境衛生学分野必修

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（出席と質問等の積極性を含む）70%、レポート30%

[教科書]

講義中の配布資料

[参考書等]

（参考書）

[授業外学習（予習・復習）等]

III. 教育・学習方法

- ・パワーポイントスライドによる講義
- ・適宜、ビデオやスライドを使用します

（その他（オフィスアワー等））

その他メッセージ

後期の「中毒学」および「On the Bench Training」を受講するためには、この講義を受講することが必須です。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限10人まで可能

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。